

◆ベンチャー・リンクが規制緩和生かすセミナー◆

成熟、低成長経済下で、消費者保護の視点から規制緩和や自由化が図られてきた。セミナーでは、中堅・中小企業の経営者が規制緩和・強化の波を捉え、地域に根ざす成長を果たすためのポイント

を考える。講師は、同社社長の松本信彦氏。サブテーマは、「『規制緩和』がもたらす新規事業への進出チャンス」。参加費は無料。定員は20人。問い合わせは同社ビジネスソリューション部(電話03・5827・8571)へ。

LM FM局とコラボ企画

東京で省エネ機器拡販

法人開拓へ支店開設

機器販売や最適化提案

えんがわ



横山宗正社長

省エネに関するコンサルティング業などを手掛ける、えんがわ(本社名古屋市中区栄四ノ二ノ一〇・小浅ビル八階、横山宗正社長、電話052・2511・7126)は、都市部での営業展開強化を図るため東京支店を設立した。原材料価格の高騰で製品や生活用品が相次いで値上げするなか、飲食店などの法人企業が電気料金の基本料金を値下げするという同社の省エネコンサルティングに着目。関心を集める中、市場規模の大きい首都圏に進出し、売り上げ拡大に弾みをつける考えだ。

えんがわは二〇〇六年一月に設立。工場などに電力を小売りする特定規模電気事業者(PPS)を法人企業に紹介したり、マンションの事業主にプレーカーなどの省エネ機器を販売するなど、電気契約料金の最適化をアドバイスしている。

最近では環境意識の高まりやコスト削減の観点から、都市部のマンション管理会社や飲食店を中心に相談が増えているという。そうした需要増に対応するため、先月、東京都中央区に東京支店を設立。三人の社員と外部からの営業協力で首都圏での新規開拓に着手し、十月までに支店単独で十五件の新規契約をめざす。

横山宗正社長は「生活用品の相次ぐ値上げをタイから寄贈された

で今年に入ってから相談件数が増えている。提携企業を増やして需

(今井潤)

象を商店街の象徴に

山街 象を商店街のシンボルに。 覚王山商店街は、今秋から象の餌代に充てる募金を実施する。かつて同商店街の近くに「日泰寺」の参道がある。タイから贈られた「参道」歩いた

取引

象が歩いたことちな象を飼育すること計画み、象を商店街のシンボルとして打ち出し、や環境面の問題から実現には至らなかった。それでも「何らかの形で象に関わっていきたく」(鈴木伸治覚王山商店街振興組合事務部長)と考

キラリ新技術・製品表彰

市工研など

名古屋市工業研究所と名古屋市工業技術振興協会は、市内中小企業の技術振興などを目的とした「第十三回名古屋市工業技術グランプリ」へのすぐれた新技術・新製品の募集を行っている。同グランプリは、新技術・新製品の開発事例について表彰を行い、企業体質の強化を支援し、普及に努めるのが狙い。



今回、同ボウルや名古屋グランドボウルなどで発売している、三





